

平成27年度事業報告書

当協会は「民による公益」の担い手とされる公益法人であり、ペストコントロール事業者で組織する社団法人という業界団体としての側面から、組織活動の強化策として、全国各地の連携会員と共に所属会員と当協会との相互理解を推進すると同時に、地区の行政機関等に向けた業界のPRをかねて各地での地域交流活性化セミナーを主催したほか、関係機関等での講演等を積極的に行った。

また、平成27年度は、平成26年における約70年ぶりとなるデング熱国内感染発生の翌年ということで、多くの地域でサーベイランス等の対応をしたところである。当協会としても引き続き情報の取りまとめや対外的な発表などを通じて、ペストコントロール並びにペストコントロール協会の意義を周知すべく活動を行った。幸いにして国内発生は確認されなかったが、昨今では更にジカウイルス感染症に対する懸念が拡大しており、感染症媒介蚊に対する活動を今後も継続する。

また、好評を得ている協会機関誌“ペストコントロール”については、発行部数を1号当たり3割の増刷とする等、各都道府県、市区担当行政に配布しPR周知を拡大した。

更に、医療分野におけるインフォームドコンセントと同様の説明責任をはたすべく業界における冊子を作成し会員に配布したほか、インバウンドの増加とともに懸念されるトコジラミに関する専門的写真集も発行した。

その他、専門技術者の育成、第50回となるペストコントロールフォーラムの主催、ペストロジー学会の運営支援等、種々の重点事業を継続実施した。

事業内容

1 組織活動の強化

(1) 会員組織の強化

各地区本部長、各都道府県協会（地区協会）及び所属会員等の協力を受け、未加入業者の入会促進に努めた。本年度の新規加入は12社、退会は14社で、年度末の所属会員数は、872社となった。（別紙1及び2を参照）

(2) 地域活動の推進

公益活動を柱とした協会事業の円滑な実施を図るため、各地区協会のまとまりである地区本部を強力に支援・指導し、地域におけるペストコントロール業の健全かつ活発な事業展開を促進するとともに、各地域の行政機関との連携を密にするための直接・間接的なサポートを行い、地域住民の安心・安全を基本とした快適な生活環境の推進に寄与した。

(3) 公益社団法人化に関する事業運営や組織等の整備

平成25年度に公益社団法人へ移行したことにより、公益社団法人としての事業活動のPR及び一般消費者から更なる理解を得る為の公益的事業運営を推進すると同時に、各地区協会との連携強化に係る検討を継続して行った。

(4) 都道府県協会長会議の開催

総会翌日、5月29日(金)、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、44都道府県57名の参加を得て、都道府県協会長会議を開催し、各地区協会長が当協会執行部に直接質問する等、当協会と各地区協会との意思の疎通を図り、協会の事業運営に役立てた。

また、本年度は今後も発生が懸念されるデング熱関連対応について、全国的な調査基準の均質化を目標とした勉強会及び「成功を収めている協会運営に学ぶ」としてペストコントロール協会の運営事例発表を実施した。

(5) 地域交流活性化事業

各地区協会単位では費用や事務的負担等の面で開催が難しいセミナーを、当協会主催で開催した。感染症、トコジラミ、デング熱媒介蚊対策等、地方における開催地と協議の上で要望の高い内容で講習会・勉強会を開催し、実施地区協会のみならず周辺協会会員・行政・一般市民が幅広く参加できるような場を設けた。

更に、各地での開催に併せて当協会役員との意見交換会を実施することにより、会員との連携を深めた。

実施事業①

島根開催 開催月日 11月25日

会場 松江テルサ

参加者 セミナー：37名 懇話会：18名

講演内容

「PCOとしてデング熱対策にどう取り組むか」

「マダニ類と感染症」

「ペストコントロール協会の取り組み」

実施事業②

宮城開催 開催月日 12月2日

会場 仙台市情報・産業プラザ

参加者 セミナー：51名 懇話会：9名

講演内容

- 「PCOとしてデング熱対策にどう取り組むか」
- 「増加する食中毒ノロウイルスにどう取り組むか」
- 「ペストコントロール協会の取り組み」

実施事業③

大分開催 開催月日 1月28日
会 場 大分銀行 宗麟館
参加者 セミナー：61名 懇話会：21名
講演内容

- 「ペストコントロール協会におけるデング熱への取り組みなど
近年の活動について」
- 「ツマアカスズメバチについて」
- 「身近でできる蚊の対策」
- 「蚊が媒介する感染症の世界情勢について」
- 「わが国の感染症媒介蚊防除の歩みと今」

実施事業④

北海道開催 開催月日 2月2日
会 場 ホテルポールスター札幌
参加者 懇話会：9名

(6) 有害生物関連写真等の収集

当協会の判断で提供できるような写真や動画等の拡充について、平成21年度より開始した募集を継続し、素材の充実を図っている。本年度は78作品の応募があり、そのうち9作品を入選作品として選定した。

当協会ホームページでは、今までに収集した素材の一部を公益に供するため、一般公開している。

(7) 主な会議の開催状況

会議名	回数	開催日
総会	1	5/28
理事会	3	4/17 1/14 3/8
運営協議会	2	5/28 8/21
委員会	12	
総務委員会	3	7/7 10/8 12/8
国際委員会	1	8/21
広報委員会	4	4/15 7/17 10/13 1/13
技術委員会	4	4/20 7/31 9/30 1/20
各種委員会	4	
技能師評価委員会	1	12/22
資格認証委員会	0	
害虫防除業中央協議会	3	4/21 8/25 1/21

2 広報事業・PR活動推進

(1) 機関誌の発行

機関誌「ペストコントロール」を年4回（4月号 2,700部、7月号 2,800部、10月及び1月号 3,700部 合計 12,900部）発行し、会員、全国の担当行政機関、保健所をはじめとした関係機関等へ広く配布した。

(2) 各種冊子の作成・頒布

有害生物等の防除に関して、顧客に対してきちんと説明し、不信感をもたれないためには医療分野と同じくインフォームドコンセントが重要であることから、(公社)東京都ペストコントロール協会技術委員会と協力して「PCOにおけるインフォームドコンセント」を作成した。

さらに、海外で発行されたトコジラミの専門的な写真集を和訳した「トコジラミでお困りではありませんか？」を頒布した。

(3) 害虫相談所活動

広報活動の一環として、6月4日～7月4日までを「ねずみ衛生害虫駆除推進月間」（通称：ムシナシ月間）として、厚生労働省並びに環境省の後援を得、6月4日を「ムシの日」として全国規模での害虫相談所を開設し、住民との身近な接点として有害生物に関する悩みを解決するための相談に応じた。

また、各種イベントの開催及びチラシ、ポスター等の配布、キャラクターの活

用等により広報活動を推進し、組織をあげてペストコントロール活動について理解を深めて貰うよう心がけた。

(4) 協会事業周知活動

我が国の公衆衛生を維持増進するという、公益的意味合いの強いペストコントロール協会事業周知のため、身近な有害生物対策小冊子や、チラシ等の作成頒布等を行った。また、各地での講演会を積極的に引き受ける等、組織をあげてペストコントロール事業について行政機関や一般消費者等に理解を深めて貰うよう努める活動を推進した。

(5) 関連団体等との連携

関係学会、試験研究機関及び関連団体等との交流を深めるとともに、国際的にも FAOPMA、NPMA、CEPA、COPLAG 等、ペストコントロール関係団体との関係を密にし、情報の収集・交流を行った。

(6) 一般市民向けのペストコントロール周知活動

ペストコントロールについて、一般市民向けに基本的な講座を無料で開催するための支援等、住みよい生活環境の保持増進のためのペストコントロールの重要性、個人で取り組める方法、当協会の存在や役割の周知活動として、本年度は下記の通り山梨県及び鹿児島県ペストコントロール協会の実施事業に協賛した。

協賛事業①「感染症対策事例報告講習会」

山梨開催 期日 11月17日
会場 アピオ甲府
参加者 103名

協賛事業②「平成27年度有害生物等対策勉強会」

鹿児島開催 期日 10月16日
会場 城山観光ホテル
参加者 82名

(7) ホームページの改訂・拡充

当協会ホームページ全面を改訂するとともに、マスコミや一般消費者に向けての重要な公益的情報発信の場として、より一層充実した内容の構築に努めた。

3 感染症対策

(1) 感染症対策指導者講習会

学識経験者を交えた感染症対策小委員会において策定された「感染症対応マニュアル」を基に、各地区協会における感染症予防衛生隊の構築、地域指導者の知識向上のための講習会を開催した。近年の有害生物に起因する感染症への関心の高まりを受け、本年度は東西2箇所での開催とした。

東京開催	開催月日	11月20日
	会場	(公財)日本環境整備教育センター
	受講者	84名
	講義内容	「感染症に関する最近の話題」 「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針に基づく感染症対策と防除－ヒトスジシマカを中心に－」 「ヒトスジシマカの生態」 「デング熱における平常時媒介蚊対策」 「ヒトスジシマカ防除事例」

岐阜開催	開催月日	10月28日
	会場	岐阜市文化センター
	受講者	80名
	講義内容	「野生動物が関与する感染症－対策や研究の動向－」 「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針に基づく感染症対策と防除－ヒトスジシマカを中心に－」 「ヒトスジシマカの生態」 「デング熱における平常時媒介蚊対策」 「ヒトスジシマカ防除事例」

4 技術の指導活動

(1) ペストコントロール技術者養成

(一財)日本環境衛生センターとの共催による「ペストコントロール技術者養成のための通信教育(34期)」を実施している。

受講内容

1級	新規	47名	再受講	16名
2級	新規	20名	再受講	2名
3級	新規	14名	再受講	1名

合計 81名 19名

ペストコントロール技術者の認証状況（平成28年4月1日現在有効資格者）

（級種）	（人数）
ペストコントロール1級技術者	848名
ペストコントロール2級技術者	90名
ペストコントロール3級技術者	55名
ペストコントロール名誉技術者	6名

（2）ペストコントロール技術者認証更新時講習

認証更新を要する1級技術者を対象とする更新時講習会を全国4会場（北海道・東京・愛知・大阪）において実施し、技術者の技術及び知識の向上を図った。

（開催地）	（開催日）	（受講者数）	
愛知	1月18日	47名	
大阪	1月25日	65名	
北海道	2月3日	33名	
東京	2月10日	121名	合計 266名

5 資格認証制度の推進

（1）ペストコントロール技術者及びペストコントロール優良事業所制度の推進

機関誌にペストコントロール技術者養成講座の案内や合格者一覧について掲載するなど、認証の促進を図り、認証制度がPCOの質の向上、ペストコントロール業の社会的地位の向上を図るものであることを周知した。

（2）ペストコントロール技能師制度の推進

公益的側面の多いペストコントロール業にあって、作業従事者がペストコントロール技能師（以下、技能師という）資格を取得することにより、自らの身分と技術や知識の習得について社会に証明し、もってペストコントロール業界の社会的認知と地位の確立に資することを目的として、ペストコントロール技能師認証制度を推進している。

本年度は第7期として全国2箇所で開催を行い、123名が合格。昨年度までの取得者数と合わせて、全国での取得者は2,872名となった。また、有効期限を迎える有資格者に対して、最新の技術や法的知識等について指導教育し、ペストコントロール技能師としてのレベルを維持することを目標に、第4期のペストコントロール技能師更新教育を実施した。

(平成21年度～27年度までの資格取得者の集計結果は別紙3参照)

6 ペストロジー学会の支援と開催

衛生動物学の研究者、PCO 技術者等の会員を有する日本ペストロジー学会の事務局として学会事務を担当・支援した。

また、第31回研究発表会が、宮城県仙台市において次のとおり開催された。

開催月日	11月12日～13日
開催場所	仙台市情報・産業プラザ
参加人員	350名

7 ペストコントロールフォーラムの開催

当協会、全国環境衛生・廃棄物関係課長会及び(一財)日本環境衛生センターの共催並びに日本防疫殺虫剤協会、日本家庭用殺虫剤工業会及びねずみ駆除協議会の協賛により、ねずみ・衛生害虫に関する研究会を開催し、知識の向上を図るとともに、行政、研究者、PCO関係者がそれぞれ情報提供を行い、もって相互交流を図ることにより、環境衛生の向上に寄与することを目的に、第50回ペストコントロールフォーラム大会を京都府京都市において次のとおり開催した。

当協会は主催に当たり分担金を支出するとともに、運営全般を担当し、地元京都府ペストコントロール協会の全面的な協力を得て成功裏に終了した。

開催月日	2月18日～19日
開催場所	京都産業大学 むすびわざ館
参加人員	延べ790名

8 建築物衛生法に基づく指定団体業務等

(1) 防除作業従事者研修会指導者講習会の開催等

円滑な従事者研修の実施、従事者の技術・技能の一層の向上を図るため、当協会と(公社)全国ビルメンテナンス協会が組織する害虫防除業中央協議会において、指導者の育成を目的とした指導者講習会を次のとおり開催した。

開催月日	10月16日
開催場所	ビルメンテナンス会館
参加人員	27名(JPCA 14名 ・ JBMA 13名)

(2) 防除作業従事者研修登録機関としての業務

防除作業従事者研修の登録機関として未登録の協会などを対象に防除作業従事者研修会を実施した。受講者は21会場795名であった。

9 国際活動

(1) FAOPMA 会員としての活動

アジア・オセアニア・ペストマネジメント連盟 (FAOPMA) の一員として積極的に活動した。

2015年 FAOPMA 大会は、9月2日～3日、マレーシア (ペナン) の「ホテル エクアトリアル ペナン」において開催された。グローバルな視点での情報収集や各国 PCO 関係者と友好を深めるべく、活動を展開した。また、大会視察ツアーを企画、実施した。

ツアー参加者 13名 (成田発)

大会登録者 10名

(2) NPMA を通じての国際交流の推進

2015年 NPMA 大会は、10月20日～23日までナッシュビルの「ゲイロード・オープリーランド・リゾート&コンベンションセンター」において開催された大会へ参加し、資料の収集や国際貢献に寄与した。また、大会視察ツアーを企画、実施した。

ツアー参加者 14名 (成田及び中部発)

大会登録者 38名

(3) 国際情報の収集・提供

海外で発行されているペストコントロール関連情報 (書籍雑誌等) を収集し、それを基に我が国でも有用な情報提供を行った。

10 PCO 賠償責任保険への加入促進

協会所属会員の PCO 業務に対する賠償責任保険の加入促進を図り、併せて当協会が斡旋する PCO 団体責任保険及び従事者に対する傷害保険への加入を推進した。本年度の加入者数は賠償責任保険 256 件、傷害保険 25 件であった。

11 叙勲・厚生労働大臣表彰等の受章

平成 27 年度におけるペストコントロール関連の受章は、叙勲 2 名、厚生労働大臣表彰 (建築物環境衛生功労者) 3 名、環境大臣表彰 (生活環境改善功労者) 1 名、(公財) 日本建築衛生管理教育センター会長表彰 (建築物の環境衛生管理事業功労者) 2 名、当協会会長表彰 14 名であった。

(別紙 4 参照)

12 その他

(1) PCO 事業に関する各種公益事業団体に対する事業協力

区分	名 称	期 間	開催地	主 催 者
後援	第43回建築物環境衛生管理 全国大会	28.1.21 ～1.22	東京都	(公財)日本建築衛生管理教育 センター
協賛	環境衛生週間	27.9.24 ～10.1	全 国	環境省、都道府県、市町村
協賛	第59回生活と環境全国大会	27.10.20 ～10.22	京都市	(一財)日本環境衛生センター

(2) 厚生労働省及び環境省から業界への窓口としての協力事業

厚生労働省及び環境省のペストコントロール業界に対する行政指導窓口として役割を果たすとともに行政、業界、一般市民の意思の疎通を図った。